

## 夏期における採卵鶏の 卵殻質改善および卵重低下抑制飼料

鶏が暑熱に暴露されると、産卵性が低下し、卵殻の強度が悪化するなどの問題が生じます。卵殻強度は、カルシウムやビタミンDの強化、イソマルトオリゴ糖の給与とともに食塩含量を減少させ重曹を補うことで卵殻強度の改善が期待できますが、夏期にはMS卵以下の小玉が多くなり、価格の安定しているM玉の産卵数が減少します。そこで、山梨県畜産酪農技術センターでは、採卵鶏経営の安定化を図るために、夏期において卵殻強度を低下させることなく卵重を増加できる技術開発を行いましたので紹介します。

### ☆ 技術の概要

1. 採卵鶏（2年鶏）の夏期の育成において、カルシウムやビタミンDを強化、イソマルトオリゴ糖の給与とともに食塩含量を減少させ重曹を補った卵殻質改善飼料を給与すると、産卵率は低い値を示しましたが、無処理と比べて有意な差がなく、卵殻強度が有意に高くなります。
2. 卵殻質改善飼料へのアミノ酸の添加量を要求量の130%に増量すると、平均卵重が高まり、M玉以上の割合が増加します。
3. 産卵率を加味した1日100羽あたりの鶏卵販売額（卵殻強度3kg以上）は、卵殻質改善飼料を給与することで32.5円増加し、さらにアミノ酸を強化することで約54.2円増加しました。飼料費の上昇分を差し引いた収益性は、卵殻改善飼料で16.9円、アミノ酸強化飼料で18.2円向上しました。



図1 強化飼料の給与状況

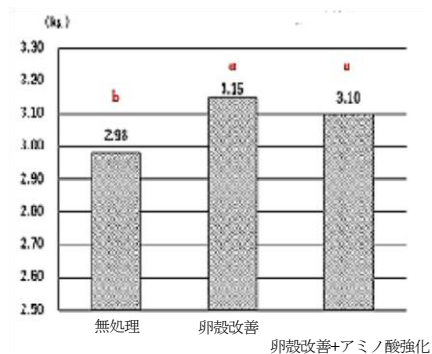


図2 卵殻強度（異符号間に有意差）

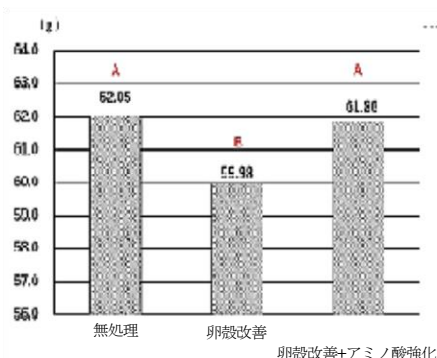


図3 卵重（異符号間に有意差）

### ☆活用面での留意点

1. 採卵鶏の2年鶏に適用できます。
2. 詳しくは、山梨県畜産酪農技術センター養鶏科 松下浩一（TEL055-273-6441）にお問い合わせください。